



朝から新幹線で来て、一日の仕事が終わり、柳ヶ瀬のはずれの寿司屋のカウンターで人を待ってのんびり飲んでいると、隣はこれから同伴でお客さんと出勤するグループがにぎやかだった。柳ヶ瀬自体はアーケードも本当に人通りが少なくてかわいそうなくらいだが、一人一人は元気がいい。「えー、車で行くんじゃないのー、車じゃないと遅刻しちゃうよー。」と針金細工にミニスカートをはかせたような女がかんだかい声で叫び、太めのスーツのおじさんご一行は「歩くぞー、歩く。帰りにまた寄るよー。」と一騒ぎしながら出ていった。「そうだ、歩けばいいんだ。10分もあれば隅から隅まで行けるところをなにがタクシーだ。パーク。」と思いながら飲み続けた。ただ見かけばかりで頭がカラッポの若い女がたとえ超ミニスカートのス

リット付きでうろうろしていても面白くもなんともない。いろいろなお客もいるが、この店が好きなのは主人夫婦が気持ちが良いからだ。笑顔を見ながらぼつりぼつりと話しを交わしながら飲むのはいい。公務員だった奥さんがはじめて店に出なければいけなくなった頃の話聞いていた。「だってあのころは恥ずかしくて何も話せなかった。」「で、どうしろとかいわれたの。」「ひとつだけね。しっかり口にチャックをしろって。」「すごいものだなと思う。そういうことをしっかりとと言う旦那もいい。もっともしっかりものの旦那も乗鞍へ家族でドライブに行ったときは弱みをしっかり家族中ににぎられたらしい。「だってあのひと、運転しながら、真っ青になって震えているんですもの。あんまり異常だから運転をかわったのよ。」と奥さんが笑いながら言うと、「でも、乗鞍のスカイラインってすごい崖の上を走るんですよ。下を見たらそりゃーもう。」「でも、運転してるんでしょ。」「運転ったってあれは凄いとこですよ。」と旦那はしきりに抗弁するが「もう、子供達にもしっかり高所恐怖症だってわかっちゃいましたよ。」と奥さんは笑いながら話している。しばらくすると、待っていた人がやってきて、今度はそちらとのんびり話す。この人もむだな事は話さないが何となく暖かみのある人で、あまり飲まないのにいつもいっしょに飲んでくれる明るくて気持ちの良い人だ。何となく、見栄も、肩を張った所もなく、自然体で見ていてすっきりする。腹をこしらえて店を出ると柳ヶ瀬を隅から隅まで客引きに声をかけられながら横切り、昔に比べるとだんだんと隅にいつてしまったがしたたかに生きている九州女のさっちゃんの店に行く。そこはホントにはずれの路地を曲がった所に小さい「幸」という看板がある店で、いつもお客は一人か二人いるくらいなものだが、ドアを開けると小さなカウンターの中にどーんとさっちゃんのまるまるとしたはじける笑顔があって、路地にいることなど忘れてしまう。つまみなんかピーナッツくらいで、一度おでんとか煮物が出たときはびっくりしてどうしちゃったのか心配したものだが、一応ブランディーで憎まれ口をたたきながら時間がすぎてゆく。あそこは今でも一見さんはお断りなのかなー。「だって、こっちは女一人だから、こわいでしょ。」「ん、どっちが?」でも「ばれそうな時はしっかりぼるのよ。」だって、おーこわ。12時を回った頃ようやくタクシーでホテルに着き缶ビールを開けるのだがいつも飲みきる前にどういう訳か寝てしまい、翌朝、5時頃には二日酔いで重い頭と身体を無理に引き起こしてシャワーを浴びて、まだ暗い町を駅へと向かってゆく。そんなことをやりながらもう10年たちたくさんの公園を作ってきた。いつまで続くのかなー。いろいろな人と出会うが生きのいい芯のある気持ちの良い若い衆にしばらく会っていない。出会いたいものだ。

12月の「ノーム工作室」はばらばらとホームページを作る人が来ています。1日2500円+実費でおこないます。場所はノームプランニング(JR両国駅東口から徒歩5分、京葉道路ぞい、本所警察隣、永谷寄席の上11階9号室)です。

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

GnomesJpn@aol.com